

TDC パッケージ 用語集

株式会社トヨタシステムズ

第 1.2.0 版 2022 年 4 月 15 日

変更履歴

項	版数	変更日付	変更内容
1	1.0.0 版	2018/4/1	新規作成
2	1.1.0 版	2020/3/16	用語集のレイアウト変更（通信パッケージ Ver1.1.1）
3	1.2.0 版	2022/4/15	アプリケーションフォーマットのリンク先を変更

目次

1. はじめに	1
2. 用語	2
2. 1 共通用語	2
2. 2 TDC 通信パッケージ用語	6
2. 3 TDC アプリ支援パッケージ用語	8
3. 索引	10
3. 1 読み方索引.....	10
3. 1. 1 【あ行／ア行】	10
3. 1. 2 【か行／カ行】	10
3. 1. 3 【さ行／サ行】.....	11
3. 1. 4 【た行／タ行】.....	12
3. 1. 5 【な行／ナ行】	13
3. 1. 6 【は行／ハ行】	13
3. 1. 7 【ま行／マ行】.....	13
3. 1. 8 【や行／ヤ行】	14
3. 1. 9 【ら行／ラ行】.....	14
3. 2 アルファベット索引.....	15

1. はじめに

このマニュアルは、TDC 通信パッケージ及び TDC アプリ支援パッケージの用語集です。

2. 用語

2. 1 共通用語

・TDC 通信パッケージ、TDC アプリ支援パッケージで共に使われる用語です。

	用語	説明
1	DIEX（汎用）	・トヨタシステムズが提供する EDI サービス ・トヨタグループ関係以外の企業が利用している特定の 他社サービスとの連携も可能
2	u-DIEX（汎用）	・トヨタシステムズが提供する EDI サービス ・DIEX（汎用）サービスの後継の位置づけで安価に提供 ・トヨタグループ関係以外の企業が利用している特定の 他社サービスとの連携は原則不可
3	パートナー登録	・DIEX（汎用）または u-DIEX（汎用）サービス上でのデータ授受を 実現させるために必要な登録 ・パートナー登録は授受を行う双方からトヨタシステムズへの 登録申し込みが必要
4	メッセージ識別子 MSG 識別子	データ授受するファイルを識別するための識別子 (半角大文字英数字 8 桁以内)
5	ファイルコード	メッセージ識別子に紐づく略称コード ・TNS 形式の場合は、最大 3 バイト、 TNS 拡張形式の場合は、最大 8 バイトのコード
6	ファイルタイプ拡張子	・送信するファイル名、受信したファイル名の拡張子
7	アプリケーションフォーマット	・データ授受するファイルの定型フォーマット ・「 TNS 形式 」、「 TNS 拡張形式 」、「 標準形式 」、「 自由形式 」の 4 種から選択
8	TNS 形式 TNS 標準フォーマット TNS 標準形式	・データ授受するファイルの定型フォーマットの一つ ・250Byte 固定長 ・文字コードは EBCDIC コード ※詳細レイアウトは以下 URL 参照 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-ga/tns_format.html
9	TNS 拡張形式 TNS 拡張フォーマット	・データ授受するファイルの定型フォーマットの一つ ・1000Byte 固定長 ・文字コードは EBCDIC コード ※詳細レイアウトは以下 URL 参照 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-ga/tns_format.html
10	TNS	Toyota Network System のこと

	用語	説明
11	自由形式	・データ授受するファイルのフォーマットの一つ ・フリーフォーマットのため、規定レイアウトはない
12	アプリケーション有効長	・TNS 形式と TNS 拡張形式の時に利用される有効データの長さ ・TNS 形式の場合、有効データの長さ+1 の値で設定 ・TNS 拡張形式の場合、有効データ長+6 の値で設定
	アプリ有効長	
	APL 有効長	
13	ヘッダー作成	・「TNS 形式」、「TNS 拡張形式」の実データ部分以外(定型部分)を自動作成・削除を設定する項目
14	利用者名称	・TDC 通信パッケージにログインする名称(ID) ・TDC 通信パッケージで利用する EDI-ID に紐づく ※任意の値で設定可能で相手先に影響しない項目
15	EDI-ID	・DIEX (汎用) で授受を行う際に利用するアカウント ・ID の発行はトヨタシステムズへの申込が必要
16	プロセス ID	・u-DIEX (汎用) で授受を行う際に利用するアカウント ・ID の発行はトヨタシステムズへの申込が必要
17	ヘッダーレコード (アプリケーションフォーマット)	・TNS 形式、TNS 拡張形式の 1 レコード目にあたり、授受情報を入力するレコード ※詳細レイアウトは以下 URL 参照 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-ga/tns_format.html
	H レコード (アプリケーションフォーマット)	
18	トレーラーレコード (アプリケーションフォーマット)	・TNS 形式、TNS 拡張形式の最終レコードにあたり、データのレコード数を入力するレコード ※詳細レイアウトは以下 URL 参照 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-ga/tns_format.html
	T レコード (アプリケーションフォーマット)	
19	データレコード (アプリケーションフォーマット)	・TNS 形式、TNS 拡張形式の実データを入力するレコード ・TNS 形式の場合、先頭を'D'と入力し、2byte 目~250byte 目まで実データを入力可能 ・TNS 拡張形式の場合、先頭を'D'と入力し、2byte 目から 6byte 目まで半角ブランクを入力し、7byte~1000byte 目まで実データを入力可能 ※詳細レイアウトは以下 URL 参照 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-ga/tns_format.html
	D レコード (アプリケーションフォーマット)	
20	N/W ユースエリア	・TNS 拡張形式のデータレコードの 2byte 目~6byte 目を指す ・原則半角ブランク埋め
21	取引先コード	・データ授受をする際に、会社を特定するための識別コード(5 桁) ・原則得意先様が付与

	用語	説明
22	サブアドレス 拠点コード	・データ授受をする際に、会社の拠点を特定するための識別コード(3桁) ・1社複数拠点で授受環境がある場合にどの拠点の授受かを識別するためのコード ・原則得意先様が付与
23	伝送フォーマット	・u-DIEX(汎用)と DIEX(汎用)のセンター内にファイルが格納され、独自変換されたフォーマット
24	DIEX(汎用)センターフォーマット DIEX(汎用)伝送フォーマット	・DIEX(汎用)センターに格納される際のファイルフォーマット ・「TNS 形式」、「TNS 拡張形式」、「標準形式」の場合、3,888 バイトで 1 レコード
25	u-DIEX(汎用)センターフォーマット u-DIEX(汎用) 伝送フォーマット	・u-DIEX(汎用)センターに格納される際のファイルフォーマット
26	区分 (ヘッダーレコード)	・‘H’固定
27	区分 (データレコード)	・‘D’固定
28	区分 (トレーラーレコード)	・‘T’固定
29	宛先コード (ヘッダーレコード)	・TNS 標準形式または TNS 拡張形式で利用 ・データ送信先(宛先会社)の取引先コード
30	発信元コード (ヘッダーレコード)	・TNS 標準形式または TNS 拡張形式で利用 ・データ発信元の取引先コード
31	ファイルコード (ヘッダーレコード)	・ファイルコード先頭 3 桁を入力 ・4 桁以上の場合はファイル詳細コードに入力 ・詳細は、ファイルコードを参照
32	作成日付 (ヘッダーレコード)	・TNS 標準形式または TNS 拡張形式で利用 ・データ送信日付
33	SEQ (ヘッダーレコード)	・TNS 標準形式または TNS 拡張形式で利用 ・同日に同じ宛先に対して複数回同じ MSG 識別子を送受信する際、二重送信/二重受信を防ぐためにつけられるシーケンス番号
34	アプリ有効長 (ヘッダーレコード)	・TNS 標準形式または TNS 拡張形式で利用 ・データレコードの有効桁数
35	漢字コード (ヘッダーレコード)	・JIS 漢字制定年号。 ・値としては、78 (JIS78) もしくは 83 (JIS83) のみ。
36	宛先サブアドレス (ヘッダーレコード)	・TNS 拡張形式で利用 ・データ送信先(宛先会社)のサブアドレス(拠点コード)

	用語	説明
37	発信元サブアドレス（ヘッダーレコード）	・TNS 拡張形式で利用 ・データ発信元のサブアドレス(拠点コード)
38	ファイル詳細コード（ヘッダーレコード）	・TNS 拡張形式で利用 ・ファイルコードの 4 桁目以降を入力(左寄せ) ・桁数に満たない部分は半角空白埋め ・詳細は、ファイルコードを参照
39	作成日付世紀（ヘッダーレコード）	・TNS 拡張形式で利用 ・yyyymmdd の先頭 2 桁
40	SEQ 拡張（ヘッダーレコード）	・TNS 拡張形式で利用 ・SEQ（ヘッダーレコード） の拡張項目
41	件数（トレーラーレコード）	・TNS 標準形式または TNS 拡張形式で利用 ・対象ファイル全体のレコード件数（H レコード+D レコード+T レコード）

2. 2 TDC 通信パッケージ用語

・主に TDC 通信パッケージで使われる用語です。

	用語	説明
1	標準形式	・データ授受するファイルの定型フォーマットの一つ ・利用ユーザーがほとんどいないため非推奨 ※詳細レイアウトは以下 URL 参照 https://www.toyotasystems.com/service/edi/u-diex/doc/pkg-qa/tns_format.html
	TDC 標準形式	
	TDC 標準フォーマット	
2	圧縮	・DIEX（汎用）で TNS 拡張形式か標準形式の授受を行う時に送信時暗号化・受信時復元を設定する項目 ・相手先と設定値を合わせる必要があるが、原則“しない”が設定されている
3	暗号化	・DIEX（汎用）で TNS 拡張形式か標準形式の授受を行う時に送信時データ圧縮・受信時復元を設定する項目 ・授受相手先と設定値を合わせる必要があるが、原則“しない”が設定されている ・u-DIEX（汎用）では利用されない
4	コード変換（TDC 通信パッケージ）	・TNS 形式、TNS 拡張形式、標準形式の授受を TDC 通信パッケージで文字コード変換の可否を設定する項目 ※ASCII⇔EBCDIC の 1byte 文字コード変換に対応 ※2byte 文字(全角文字)が含まれる場合は“しない”を設定 ・送信時は ASCII⇒EBCDIC の変換 受信時は EBCDIC⇒ASCII の変換
5	ローカル保管ファイル	・TDC 通信パッケージで送信・受信したファイルを一定期間保管しているファイル
6	保存期間	・TDC 通信パッケージで送信・受信したファイルをローカル保管ファイルとして保管する日数を設定する項目 ※最大 30 日まで設定可能 ※転送制御ログ保管日数がメッセージマスタの保存期間より少ない場合は、転送制御ログ保管日数が優先されます
7	転送制御ログ保管日数	・TDC 通信パッケージのログファイルに何日分のログを保管するかを設定する項目
8	転送制御ログ	・TDC 通信パッケージの転送結果が記載されるログファイル ・二重転送チェックや再受信の処理に利用される
9	DIEX（汎用）管理サーバー	・DIEX(汎用)へのログオン、ログオフを管理するサーバー

	用語	説明
10	管理サーバーログオンユーザーID	・DIEX（汎用）サービスで EDI-ID を用いて授受を行う際に認証で使われる認証 ID
	管理サーバーID	・EDI-ID に紐づく ※授受相手先へ開示する必要はない
11	管理サーバーログオンパスワード	・DIEX（汎用）サービスで EDI-ID を用いて授受を行う際に認証で使われる認証パスワード
	管理サーバーパスワード	・EDI-ID に紐づく ※授受相手先へ開示する必要はない
12	プロセス固有情報	・u-DIEX(汎用)に特定のプロセス ID で接続するときの認証情報
13	マルチファイル	・TNS 標準形式または TNS 拡張形式で、 （H レコードーD レコードーT レコード）が一つのファイルに 複数集まった複数宛先用のファイル

2. 3 TDC アプリ支援パッケージ用語

・主に TDC アプリ支援パッケージで使われる用語です。

	用語	説明
1	コード変換 (TDC アプリ支援パッケージ)	・TNS 形式、TNS 拡張形式、自由形式の授受を TDC アプリ支援パッケージで文字コード変換の要否を設定する項目 ※S-JIS⇔EBCDIC の文字コード変換に対応 ・送信時は S-JIS⇒EBCDIC の変換 受信時は EBCDIC⇒S-JIS の変換
2	APL ファイル	・アプリ支援パッケージの送受信処理で利用される送信ファイルまたは受信ファイル
3	APL フォルダ	・ APL ファイル の格納フォルダ
4	APL データパス	・APL フォルダの場所
5	コントロールデータ CTL データ コントロールデータファイル コントロールファイル	・データの画面入力や帳票出力の定義、データ変換定義が 記入された定義ファイル
6	受信用コントロールデータ 受信用コントロールファイル	・DIEX(汎用)/u-DIEX(汎用)から受信したデータに対する 変換定義ファイル
7	送信用コントロールデータ 送信用コントロールファイル	・DIEX(汎用)/u-DIEX(汎用)に送信するデータに対する 変換定義ファイル
8	リスト出力コントロールデータ リスト出力コントロールファイル	・DIEX(汎用)/u-DIEX(汎用)から受信したデータを 帳票出力するための定義ファイル
9	データ作成コントロールデータ データ作成コントロールファイル	・DIEX(汎用)/u-DIEX(汎用)に送信するデータを 画面入力するための定義ファイル
10	CTL フォルダ	・コントロールデータが格納されているフォルダ
11	コントロールパス	・CTL フォルダの場所

	用語	説明
12	RECV フォルダ	・TDC アプリ支援パッケージで処理する DIEX(汎用)/ u-DIEX(汎用)から受信した変換前データを格納するフォルダ
13	受信データパス	・RECV フォルダの場所
14	SEND フォルダ	・TDC アプリ支援パッケージで変換した送信直前データが 格納されるフォルダ
15	送信データパス	・SEND フォルダの場所
16	Back フォルダ	・処理済の APL ファイルがバックアップ保管されるフォルダ
17	保管パス	・Back フォルダの場所
18	保管ファイル（アプリ支援パッケージ）	・バックアップした APL ファイル
19	ログ保管日数（アプリ支援パッケージ）	・Back フォルダに APL ファイルのバックアップを保管する日数 ・デフォルトは 30 日

3. 索引

3. 1 読み方索引

3. 1. 1 【あ行／ア行】

	用語	ヨミ	ページ
あ／ア	アプリケーションフォーマット	アプリケーションフォーマット	P2
	アプリケーション有効長	アプリケーションユウコウチョウ	P3
	アプリ有効長	アプリユウコウチョウ	P3
	宛先コード（ヘッダーレコード）	アテサキコード（ヘッダーレコード）	P4
	アプリ有効長（ヘッダーレコード）	アプリユウコウチョウ（ヘッダーレコード）	P4
	宛先サブアドレス（ヘッダーレコード）	アテサキサブアドレス（ヘッダーレコード）	P4
	圧縮	アッシュク	P6
	暗号化	アンゴウカ	P6
い／イ	EDI-ID	イーディーアイ（－）アイディ	P3
え／エ	APL 有効長	エーピーエルユウコウチョウ	P3
	H レコード（アプリケーションフォーマット）	エイチレコード（アプリケーションフォーマット）	P3
	APL ファイル	エーピーエルファイル	P8
	APL フォルダ	エーピーエルフォルダ	P8
	APL データパス	エーピーエルデータパス	P8

3. 1. 2 【か行／カ行】

	用語	ヨミ	ページ
か／カ	漢字コード（ヘッダーレコード）	カンジコード（ヘッダーレコード）	P4
	管理サーバーログオンユーザーID	カンリサーバーログオンユーザーアイディ	P7
	管理サーバーID	カンリサーバーアイディ	P7
	管理サーバーログオンパスワード	カンリサーバーログオンパスワード	P7
	管理サーバーパスワード	カンリサーバーパスワード	P7
き／キ	拠点コード	キョテンコード	P4
く／ク	区分（ヘッダーレコード）	クブン（ヘッダーレコード）	P4
	区分（データレコード）	クブン（データレコード）	P4

	用語	ヨミ	ページ
く/ク	区分（トレーラーレコード）	クブン（トレーラーレコード）	P4
け/ケ	件数（トレーラーレコード）	ケンスウ（トレーラーレコード）	P5
こ/コ	コード変換（TDC 通信パッケージ）	コードヘンカン（ティーディーシーツウシンパッケージ）	P6
	コード変換（TDC アプリ支援パッケージ）	コードヘンカン（ティーディーシーアプリケーションパッケージ）	P8
	コントロールデータ	コントロールデータ	P8
	コントロールデータファイル	コントロールデータファイル	P8
	コントロールファイル	コントロールファイル	P8
	コントロールパス	コントロールパス	P8

3. 1. 3 【さ行／サ行】

	用語	ヨミ	ページ
さ/サ	サブアドレス	サブアドレス	P4
	作成日付（ヘッダーレコード）	サクセイヒツケ（ヘッダーレコード）	P4
	作成日付世紀（ヘッダーレコード）	サクセイヒツケセイキ（ヘッダーレコード）	P5
し/シ	自由形式	ジユウケイシキ	P3
	SEQ（ヘッダーレコード）	シーク（ヘッダーレコード）	P4
	SEQ 拡張（ヘッダーレコード）	シークカクチョウ（ヘッダーレコード）	P5
	CTL データ	シーティーエルデータ	P8
	CTL フォルダ	シーティーエルフォルダ	P8
	受信用コントロールデータ	ジュシヨウコントロールデータ	P8
	受信用コントロールファイル	ジュシヨウコントロールファイル	P8
	受信データパス	ジュシンデータパス	P9
せ/セ	SEND フォルダ	センドフォルダ	P9
そ/ソ	送信用コントロールデータ	ソウシヨウコントロールデータ	P8
	送信用コントロールファイル	ソウシヨウコントロールファイル	P8
	送信データパス	ソウシンデータパス	P9

3. 1. 4 【た行／タ行】

	用語	ヨミ	ページ
て／テ	DIEX（汎用）	ディーエックス（ハンヨウ）	P2
	TNS 形式	ティーエヌエスケイシキ	P2
	TNS 標準フォーマット	ティーエヌエスヒョウジュンフォーマット	P2
	TNS 標準形式	ティーエヌエスヒョウジュンケイシキ	P2
	TNS 拡張形式	ティーエヌエスカクチョウケイシキ	P2
	TNS 拡張フォーマット	ティーエヌエスカクチョウフォーマット	P2
	TNS	ティーエヌエス	P2
	T レコード（アプリケーションフォーマット）	ティーレコード（アプリケーションフォーマット）	P3
	データレコード（アプリケーションフォーマット）	データレコード（アプリケーションフォーマット）	P3
	D レコード（アプリケーションフォーマット）	ディーレコード（アプリケーションフォーマット）	P3
	伝送フォーマット	デンソウフォーマット	P4
	DIEX(汎用)センターフォーマット	ディーエックス（ハンヨウ） センターフォーマット	P4
	DIEX(汎用)伝送フォーマット	ディーエックス（ハンヨウ） デンソウフォーマット	P4
	TDC 標準形式	ティーディーシーヒョウジュンケイシキ	P6
	TDC 標準フォーマット	ティーディーシーヒョウジュンフォーマット	P6
	転送制御ログ保管日数	テンソウセイギョログホカンニッスウ	P6
	転送制御ログ	テンソウセイギョログ	P6
	DIEX（汎用） 管理サーバー	ディーエックス（ハンヨウ） カンリサーバー	P6
	データ作成コントロールデータ	データサクセイコントロールデータ	P8
	データ作成コントロールファイル	データサクセイコントロールファイル	P8
と／ト	トレーラーレコード（アプリケーションフォーマット）	トレーラーレコード（アプリケーションフォーマット）	P3
	取引先コード	トリヒキサキコード	P3

3. 1. 5 【な行／ナ行】

	用語	ヨミ	ページ
ね／ネ	N/W ユースエリア	ネットワークユースエリア	P3

3. 1. 6 【は行／ハ行】

	用語	ヨミ	ページ
は／ハ	パートナー登録	パートナーウトロク	P2
	発信元コード（ヘッダーレコード）	ハッシンモトコード（ヘッダーレコード）	P4
	発信元サブアドレス（ヘッダーレコード）	ハッシンモトサブアドレス（ヘッダーレコード）	P5
	Back フォルダ	バックフォルダ	P9
ひ／ヒ	標準形式	ヒョウジュンケイシキ	P6
ふ／フ	ファイルコード	ファイルコード	P2
	ファイルタイプ拡張子	ファイルタイプカクチョウシ	P2
	プロセス ID	プロセスアイディ	P3
	ファイルコード（ヘッダーレコード）	ファイルコード（ヘッダーレコード）	P4
	ファイル詳細コード（ヘッダーレコード）	ファイルショウサイコード（ヘッダーレコード）	P5
	プロセス固有情報	プロセスコユウジョウホウ	P8
へ／ヘ	ヘッダー作成	ヘッダーサクセイ	P3
	ヘッダーレコード（アプリケーションフォーマット）	ヘッダーレコード（アプリケーションフォーマット）	P3
ほ／ホ	保存期間	ホゾンキカン	P6
	保管パス	ホカンパス	P9
	保管ファイル（アプリ支援パッケージ）	ホカンファイル（アプリシエンパッケージ）	P9

3. 1. 7 【ま行／マ行】

	用語	ヨミ	ページ
ま／マ	マルチファイル	マルチファイル	P7
め／メ	メッセージ識別子	メッセージシキベツシ	P2
	MSG 識別子	メッセージシキベツシ	P2

3. 1. 8 【や行／ヤ行】

	用語	ヨミ	ページ
ゆ／ユ	u-DIEX（汎用）	ユーディーエックス（ハンヨウ）	P2
	u-DIEX(汎用)センターフォーマット	ユーディーエックス（ハンヨウ） センターフォーマット	P4
	u-DIEX(汎用)伝送フォーマット	ユーディーエックス（ハンヨウ） デンソウフォーマット	P4

3. 1. 9 【ら行／ラ行】

	用語	ヨミ	ページ
り／リ	利用者名称	リヨウシャメイショウ	P3
	リスト出力コントロールデータ	リストシュツリョクコントロールデータ	P8
	リスト出力コントロールファイル	リストシュツリョクコントロールファイル	P8
れ／レ	RECV フォルダ	レシーブフォルダ	P9
ろ／ロ	ローカル保管ファイル	ローカルホカンファイル	P6
	ログ保管日数（アプリ支援パッケージ）	ログホカンニッスウ（アプリシエンパッケージ）	P9

3. 2 アルファベット索引

	用語	ヨミ	ページ
A / a	APL 有効長	エーピーエルユウコウチョウ	P3
	APL ファイル	エーピーエルファイル	P8
	APL フォルダ	エーピーエルフォルダ	P8
	APL データパス	エーピーエルデータパス	P8
B / b	Back フォルダ	バックフォルダ	P9
C / c	CTL データ	シーティーエルデータ	P8
	CTL フォルダ	シーティーエルフォルダ	P8
D / d	DIEX (汎用)	ディーエックス (ハンヨウ)	P2
	D レコード (アプリケーションフォーマット)	ディーレコード (アプリケーションフォーマット)	P3
	DIEX(汎用)センターフォーマット	ディーエックス (ハンヨウ) センターフォーマット	P4
	DIEX(汎用)伝送フォーマット	ディーエックス (ハンヨウ) デンソウフォーマット	P4
	DIEX (汎用) 管理サーバー	ディーエックス (ハンヨウ) カンリサーバー	P6
E / e	EDI-ID	イーディーアイ (ー) アイディ	P3
H / h	H レコード (アプリケーションフォーマット)	エイチレコード (アプリケーションフォーマット)	P3
M / m	MSG 識別子	メッセージシキベツシ	P2
N / n	N/W ユースエリア	ネットワークユースエリア	P3
R / r	RECV フォルダ	レシーブフォルダ	P9
S / s	SEQ (ヘッダーレコード)	シーク (ヘッダーレコード)	P4
	SEQ 拡張 (ヘッダーレコード)	シークカクチョウ (ヘッダーレコード)	P5
	SEND フォルダ	センドフォルダ	P9
T / t	TNS 形式	ティーエヌエスケイシキ	P2
	TNS 標準フォーマット	ティーエヌエスヒョウジュンフォーマット	P2
	TNS 標準形式	ティーエヌエスヒョウジュンケイシキ	P2
	TNS 拡張形式	ティーエヌエスカクチョウケイシキ	P2
	TNS 拡張フォーマット	ティーエヌエスカクチョウフォーマット	P2

	用語	ヨミ	ページ
T / t	TNS	ティーエヌエス	P2
	T レコード (アプリケーションフォーマット)	ティーレコード (アプリケーションフォーマット)	P3
	TDC 標準形式	ティーディーシーヒョウジュンケイシキ	P6
	TDC 標準フォーマット	ティーディーシーヒョウジュンフォーマット	P6
U / u	u-DIEX (汎用)	ユーディーエックス (ハンヨウ)	P2
	u-DIEX(汎用)センターフォーマット	ユーディーエックス (ハンヨウ) センターフォーマット	P4
	u-DIEX(汎用)伝送フォーマット	ユーディーエックス (ハンヨウ) デンソウフォーマット	P4